

問題1. 登録基幹技能者の確保・育成の意義として**不適当なものを1つ**選びなさい。

- ① 建設現場の生産性の抑制
- ② 建設生産物の品質の確保
- ③ 優良な専門工事業者の受注機会の拡大
- ④ 建設産業の担い手の確保・育成

問題2. 登録基幹技能者が行う作業調整の目的として**最も不適当なものを1つ**選びなさい。

- ① 現場の作業量を増やす。
- ② 作業しやすい環境を確保する。
- ③ 作業員の手待ちをなくす。
- ④ 機材の運用効率を上げる。

問題3. 登録基幹技能者に求められる能力として**必要とされないものを1つ**選びなさい。

- ① 元請や他職の職長との調整
- ② 設計に対する提案
- ③ 作業員に対する指導
- ④ 利益を生み出すための原価管理

問題4. 現場の巡回指導における行為として**最も不適当なものを1つ**選びなさい。

- ① 作業の遅れが確認できたので増員の手配をした。
- ② 安全設備の不備を作業終了後に是正するよう指示した。
- ③ 作業方法が間違っていたので作業を中断し再指導した。
- ④ 立ち入り禁止措置に不備があったので一部変更を指示した。

問題5. 施工管理の目的として**最も関係の低いものを1つ**選びなさい。

- ① 発注者の求める品質の確保
- ② 約束の工程厳守
- ③ 建築物の有効活用
- ④ 適正利潤の確保

問題6. 現場災害に対する登録基幹技能者の対応として**最も不適当なものを1つ**選びなさい。

- ① 労働災害が発生した場合、被災者の救出を最優先にする。
- ② 元請への通報は速やかに行う。
- ③ 緊急避難は元請の指示を待つ。
- ④ 災害状況の確認を行い直ちにできる対応策を実行する。

問題7. 事前の確認事項と準備、手配の組み合わせについて**最も関係がないものを1つ**選びなさい。

- ① 現場状況の確認 ⇒ 作業方法や使用資機材の選定
- ② 作業内容と規模の確認 ⇒ 技能者の手配と資機材の手配
- ③ 作業開始時期の確認 ⇒ 適切な利益の確保
- ④ 資機材搬入路等の確認 ⇒ 搬入車両及び荷下ろし作業の選定

問題8. 仮設についての記述として**不適当なものを1つ**選びなさい。

- ① 臨時的なもので原則として工事の進捗に伴い撤去される。
- ② 任意仮設は設計図書に指定されていない。
- ③ 使用目的に対応できれば原則として法規制は受けない。
- ④ 地形その他、作業の流れも考慮して計画する。

問題9. 現場における資材管理の目的に関する記述として**不適当なものを1つ**選びなさい。

- ① 規格・仕様に適した品質の資材を選定をする。
- ② 現場の進捗状況にかかわらず計画通り搬入する。
- ③ 指定されたルートで指定場所に搬入する。
- ④ 現場内に資材倉庫を設置する場合は移動の少ない場所を考慮する。

問題10. 資機材の揚重計画に関する記述として**不適当なものを1つ**選びなさい。

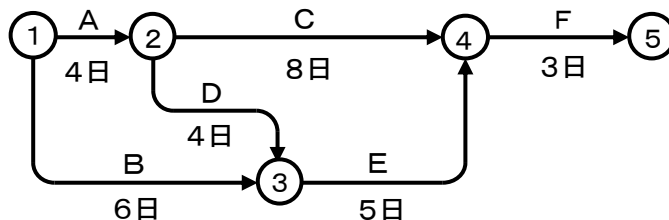
- ① 揚重機器の過重制限、寸法制限を把握して荷姿、梱包方法を検討する。
- ② 資機材の揚重計画は、搬入のみを計画する。
- ③ 揚重機器の効率（揚重回数、時間）を考えて計画する。
- ④ 揚重機器使用計画工程をもとに予定の再確認をする。

- 問題11. 見積書の経費に計上する「法定福利費」に関する記述として**不適当なものを1つ**選びなさい。
- ① 見積時から法定福利費を必要経費として適正に確保する必要がある。
 - ② 法定福利費は、社会保険料等のうち雇用主負担分のみ見積書に計上する。
 - ③ 作業者の日当（給与）の約3割にあたる社会保険料等を見積書に計上する。
 - ④ 法定福利費相当額を工事原価として別項目で見積書に計上する。

- 問題12. 専門工事業者の実行予算に関する記述として**不適当なものを1つ**選びなさい。
- ① 実行予算の作成は、工事原価ごとに作成する。
 - ② 実行予算は、工事の仕様や工程などの条件を反映させ作成する。
 - ③ 資材・材料の数量は、必ずロス率を見込んで実行予算を作成する。
 - ④ これまでの歩掛実績を参考に実行予算を作成する。

- 問題13. 追加工事または契約外工事における原価管理に関する記述として**不適当なものを1つ**選びなさい。
- ① 毎日の日報で契約内か契約外かの区別を明確にしておかなければならない。
 - ② 設計変更した契約外工事は、契約内工事金額内であれば追加契約は必要ない。
 - ③ 追加工事は、基本的に契約を行ってから工事に着手する。
 - ④ 追加工事の精算は、歩掛実績に基づいて行う。

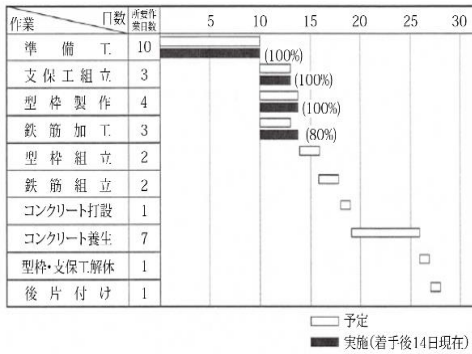
- 問題14. 下図はある工事のネットワーク工程表を示したものであるが、次の記述のうち**間違っているものを1つ**選びなさい。
- ① ネットワークの全作業を終了させるには、16日間かかる。
 - ② 作業Bは、2日間余裕がある。
 - ③ 作業Cは、作業Aが終了すれば開始出来る。
 - ④ 作業Eは、7日目から開始出来る。



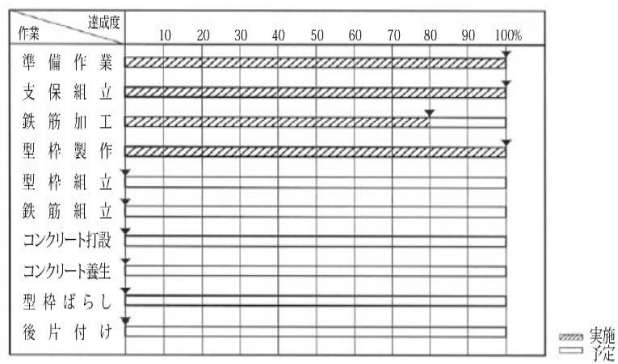
問題15. 各種工程表を説明した記述の組合せとして**不適当なものを1つ**選びなさい。

- ① バーチャート工程表 — どの作業が工期に影響するか明確でない。
- ② ガントチャート工程表 — 各作業の所要日数がわかる。
- ③ 曲線式工程表 — 出来高の進捗状況をグラフ化して示す。
- ④ ネットワーク工程表 — 各作業の相互関係がわかりやすい。

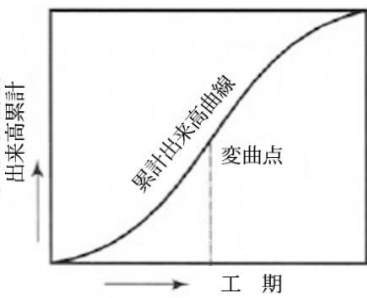
バーチャート工程表



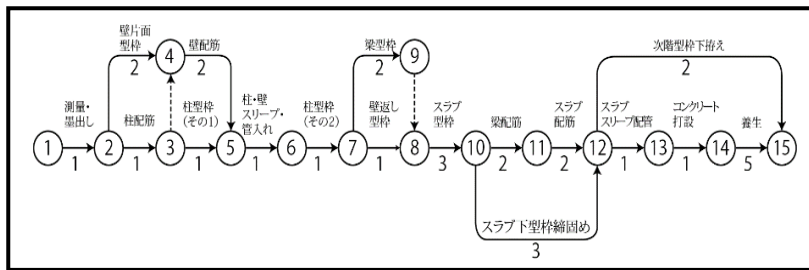
ガントチャート工程表



曲線式工程表



ネットワーク工程表



問題16. 品質管理に使われる語句と説明した文章の組合せとして、**不適当なものを1つ**選びなさい。

- ① プロセスコントロール — 仕事の結果の管理
- ② コンプライアンス — 法令遵守
- ③ TQC — 総合的品質管理
- ④ 建築基準法 — 建築活動を規定する最も基本となる法律

問題17. 品質管理に関する記述として**不適当なものを1つ**選びなさい。

- ① 品質管理とは、顧客の要求に合った品質の物を 経済的に作り出すことである。
- ② I S Oとは国際標準化機構のことである。
- ③ P D C Aサイクルとは、「計画・実施・検討・処置」を繰り返し実行することである。
- ④ 仮設物の内、将来撤去されるものについては、品質管理の対象外である。

問題18. 「QC七つ道具」とその名称の組み合わせで、**間違っているものを1つ**選びなさい。

- ① 図A — ヒストグラム
- ② 図B — 散布図
- ③ 図C — パレート図
- ④ 図D — 特性要因図

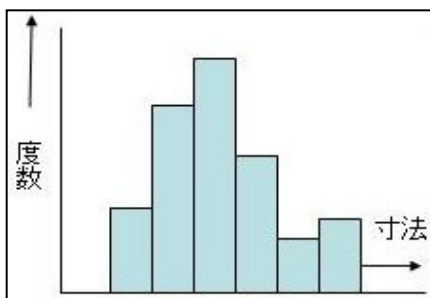


図 A

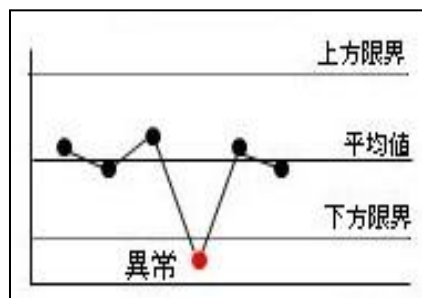


図 B

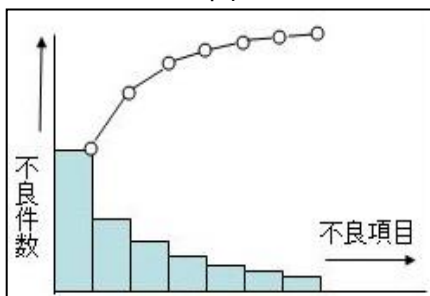


図 C

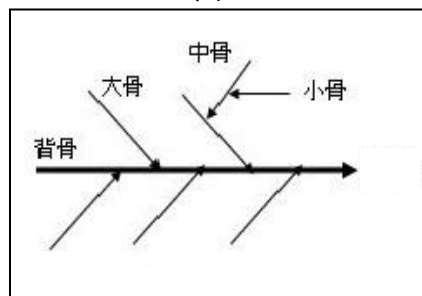


図 D

問題19. 建設業許可に関する記述として**不適当なものを1つ**選びなさい。

- ① 建設業許可の有効期限は3年で以降3年毎に更新が必要である。
- ② 建設業許可の業種として29業種に区分されている。
- ③ 建設業許可の種類は国土交通大臣許可と都道府県知事許可がある。
- ④ 一般建設業許可の場合「主任技術者」相当の技術者の配置が必要である。

問題20. 施工体制台帳に記載する事項として不適当なものを1つ選びなさい。

- ① 管理技術者名
- ② 登録基幹技能者名
- ③ 作業主任者名
- ④ 主任技術者名

問題21. 安全衛生管理の目的に関する記述として**不適当なものを1つ**選びなさい。

- ① 現場で働く人はルールを守り仲間を守る義務がある。
- ② 仕事に取り組む過程で危険状態を発生させない。
- ③ 作業員は安全な場所で働く権利はあるが義務はない。
- ④ 危険な状態にしない、危険な行動をとらないことが求められている。

問題22. 現場の安全指示、周知に関する記述として**不適当なものを1つ**選びなさい。

- ① 周知のための工夫として少人数のミーティングがある。
- ② 周知すべき事柄の最優先は工期を守ることが挙げられる。
- ③ 作業通路等の現場内状況の変化は周知する。
- ④ 安全朝礼、ミーティング等では確実に伝わる事が重要である。

問題23. 登録基幹技能者の安全活動として**不適当なものを1つ**選びなさい。

- ① 1日の安全施工サイクルの設定と運用。
- ② 元方安全衛生管理者の教育。
- ③ マンネリにならないKY活動。
- ④ 効果的なリスクアセスメントの活用

問題24. 作業主任者の配置が必要な作業として**不適当なものを1つ**選びなさい。

- ① 高さ5m以上のコンクリート造の解体作業。
- ② 酸素欠乏危険場所における作業。
- ③ 掘削面の高さが2m以上となる地山の掘削作業。
- ④ つり荷重10トン以上のタワークレーンの組立作業。

問題25. 玉掛け手順作成に関する記述として**不適当なものを1つ**選びなさい。

- ① 介錯ロープを両端に2本取付ければ地切時の一旦停止を省略しても良い。
- ② 玉掛け作業者は作業開始前に玉掛けワイヤの点検を行う。
- ③ ワイヤは原則2点吊りとする。
- ④ 荷受け者も玉掛け技能講習を修了した者が行う。

事務局用	受講番号

以下の2問は記述式となります。(解答をこの問題用紙に直接記入してください。)

(10点)

問題26. 職長として新規現場の着工前において確認することを
2項目具体的に書きなさい

①

②

(15点)

問題27. 職長として現場巡回する時 ①安全 ②品質 ③工程について
それぞれ確認する点を具体的に書きなさい。

①安全

②品質

③工程
